

エコプラザ西東京ニュース



エコエコ eco eco 第 17 号

発行 エコプラザ西東京

〒202-0011

東京都西東京市泉町 3 丁目 12 番 35 号

TEL 042-421-8585 FAX 042-421-8586

Eメール ecoplaza@city.nishitokyo.lg.jp

西東京市内緑のカーテン探求

連日の猛暑の中、涼を求めて西東京市内の緑のカーテンを探しに出かけてみました。



田無町 小笠原宅

毎年、見事な緑のカーテンを作られているお宅があると伺い、田無町の小笠原さん宅をお訪ねしました。

協力員：季節、季節でたくさんの草花があって、いつも外から楽しませていただいています。今年の緑のカーテンはいかがですか。

小笠原：去年はへちまを植えたのですが、葉が茂りすぎて、部屋の中が暗くなってしまったので、今年はきゅうりとゴーヤにしました。きゅうりは食べきれないほど採れましたが、もう終わりです。

協力員：先にきゅうりを植え、終わる頃にはゴーヤのカーテンが継続する、よく考えていらっしやいますね。緑のカーテンはいつ頃から作っているのですか。

小笠原：もう 10 年以上になります。一階の庭先に屋根をつけるまでは、2 階の上までつるが伸びていたのですが、雨でも庭で作業ができるようにと屋根をつけたら、2 階まで茂らなくなりました。

協力員：つるを這わせるための準備はどなたがされるのですか。

小笠原：植物の手入れは私ですが、ロープを張るなどの準備はすべて夫がやります。

協力員：ご夫婦の共同作業なのですね。肥料や虫の駆除はどうされていますか。

小笠原：庭の二つのコンポストをフル稼働させて、肥料にしています。おかげで生ごみはほとんど出ず、燃えるごみは週 1 回、5 リットル袋で十分です。害虫の駆除は、毛虫や、よとう虫などを見つけ次第、箸でせっせと取り除くという原始的な方法と、木炭酢で対処しています。

協力員：害虫の駆除が大変ですね。

小笠原：大変ですが、それ以上に楽しいですね。

協力員：本日は涼しげなお庭を拝見できました。本当にありがとうございました。

お訪ねしたのは 7 月末のお昼近く。緑のカーテンの外側は気温 34℃、湿度 66%、カーテンの内側に回ると気温は 32.5℃、湿度 63%でした。体感温度の違いももちろんですが、風に揺れる葉陰は涼しげで、西側のぶどう棚と合わせて本当に気持ちの良い空間を作っていました。

(取材担当：エコプラザ協力員 金成)



外側から眺めた緑のカーテン



カーテンを通して注ぐ、柔らかな陽の光



庭のコンポスト

サムエル保育園



毎年、園児一人一人が朝顔を植えていると伺い、サムエル保育園を訪ねました。

この日は連日の猛暑が続いた午後でしたが、保育園ではちょうど園児たちが、朝顔のカーテンに日差しをさえぎられたお部屋でお昼寝をしていました。

年中さんと年長さん合わせて約 90 名の園児のみなさんが、5 月に自分たちで苗を植え、各自の苗の成長記録もつけているそうです。

(次頁に続く)

6月にはたくさんの涼しげな花をつけていた朝顔も、残念ながら、ピークを過ぎて種が出来あがっていました。秋には毎年園児たちが種を採ってお家へ持って帰られるそうです。朝顔の緑のカーテンを始めて20年以上になるそうで、ここで育った朝顔の子孫が園児の皆さんのお家や、さらにそのお子さんのお家の窓を彩っているのかもしれません。

帰り際、園の敷地内で小さな小さな、体調1センチほどの蛙を見つけました。今年の春、園の池で泳いでいたおたまじゃくしの内の一匹かもしれません。

お忙しい中、ご案内していただいた内藤園長先生、事務長の伊藤さん、ありがとうございました。

サムエル保育園

向台町 2-7-21

042-465-4061

<http://www.ans.co.jp/n/samueru/>

三和建装株式会社

西武新宿線を利用される方なら、田無駅と柳沢駅のほぼ中間あたり、新宿に向かう左手の車窓から、3階建てビルの見事な壁面緑化をご覧になったことがあるのではないのでしょうか。

5年前、田無町1丁目^{げんかく}に新社屋^{なか}を建てた際に、施工された壁面緑化について元角社長と中専務にお話を伺いました。

広報：市民の方から御社の壁面緑化を「ぜひ取材して欲しい!」との声があり、今回お話を伺いに参りました。まず施工を決められたきっかけを教えてください。

社長：京都議定書の決議以降、温暖化防止に向けて色々と企業努力が求められています。ビルの外張り断熱などの大規模改修工事を生業としている会社なので、少しでもCO₂削減につながることを行いたかったというのがきっかけです。このビルも外張り断熱と複装ガラスで、夏は常時室温28度設定になっています。

広報：とても28度の設定とは思えない快適さですね。壁面緑化は社内で施工されたのですか。

社長：業者をお願いをしました。壁面に根を張る植物は避けて、最初は「さねかずら」と「にしきていかずら」を植え、立派に育っていたのですが、成長の度合いが違って、見栄えが悪くなってしまい、今年の3月に「すいかずら」に植え替えましたので、まだ1階部分にかかったところですよ。

広報：なるほど、それで推薦された方が、「今年は出来映えがあまり良くない」と言っておられたのですね。毎年植えつけていると思われたのかもしれませんが。植え替えの費用はどのくらいかかりましたか。

南側の壁面緑化



社長：土台とワイヤーと植物の費用で約50万円ほどです。これで社員の癒し効果になり、地域の方々の目を楽しませられるのでしたら安いものです。社員がパソコンを使う際には、日差しのまぶしさを防いで、ブラインド効果にもなります。

広報：水遣りなどはどうされていますか？

社長：朝は早く来た社員が水をやっています。夕方は交代でやってくれています。

広報：その他、何か環境に即した事で取り組んでいることがありましたら教えてください。

専務：エコキャップを集めたり、社員にエコドライブを推進したりしています。それから当たり前のことですが、環境にやさしい溶剤を使用したり、産業廃棄物の削減に努めています。現在ISO取得に向けて取り組んでいるところです。

8月には2階の窓にまで達し、事務所のブラインド効果が期待されます。

お忙しい中、取材にご協力いただき有難うございます。

三和建装株式会社 所在地: 西東京市田無町 1-12-6
電話: 042-450-5811(代) <http://www.sanwakensho.co.jp>



簡単クッキング~ゴージャの焼きうどん~

夏休み中のランチにも最適です!

[作り方]

ゴージャを縦に二つに割り、スプーンで中綿と種を取る。

半円のスライスに切る。

豚肉は約1cm幅に切る。

にんにくは二つに割り、中の芯芽を取り除いて、うす切り。

フライパンを熱してサラダ油をひき、にんにくを入れて、香りが出たら、豚肉を入れて軽く炒める。

にゴージャを加え、火が通ったら、うどんを加え、焼き目がつくように炒めながら、塩、こしょうをふって混ぜ合わせる(好みで白菜のキムチを加える)。

にかつおぶしを加え、しょうゆを上からさっとかけて炒め、しょうゆの焦げる良い香りがしたら出来上がり。



- [材料] (二人分)**
- ゆでうどん 2玉
 - ゴージャ 1本
 - 豚肉 100グラム
 - にんにく 1~2片
 - かつおぶし 適量
 - サラダ油 適量
 - 塩・こしょう・しょうゆ
 - 白菜のキムチ(好みの量)



「エコプラザ西東京」イベント・講座カレンダー 8月&9月

エコプラザ西東京主催事業には  マークがついています

日	月	火	水	木	金	土
8月15日	16日 休館日	17日	18日	19日 10:00~12:00 夏休み自由研究 「ダンボールコンポストで生ごみを減らそう！」 第2回目 募集締め切り 	20日	21日
22日	23日 13:30~16:00 夏休み企画 「なたね油からろうそく作り」 みんなで減らそうCO ₂ 主催:西東京菜の花エコプロジェクト(エコプラザ登録団体)	24日 10:00~15:00 夏休み自由研究 「ちくちく縫ってみよう！」 第2回目 募集締め切り 	25日 9:30~12:00 夏休み親子自然観察会 虫を見よう、描いてみよう!於:東大農場 主催:西東京自然を見つめる会(エコプラザ登録団体)	26日 9:30~15:00 夏休み自由研究 リサイクルアートスペース 「によきによきワークショップ2010」 フィールドに出てみよう! 募集締め切り 	27日 13:00~15:00 夏休み自由研究 「マイ箸袋をつくろう」 主催:エコプラザ西東京 募集締め切り 	28日 9:30~12:30 2010年国際生物多様性年特別企画 「屋敷林の生き物探検 & ワークショップ」 主催:屋敷林の会(エコプラザ登録団体)
29日 こども料理検定 午前の部 10:00~12:00 午後の部 13:00~15:00 主催:ワークス・コレティブちるりん村(エコプラザ登録団体)	30日	31日	9月1日	2日	3日	4日 15:00~20:00 第3回キャンドルナイト~家族で手作りするエコ~ 主催:キラキラ西東京(エコプラザ登録団体)
5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日

登録団体主催講座のご案内

なたね油からろうそく作り

なたねの種子から搾油実習、資源の循環や油の歴史について学びます。なたね油と廃油を使ったCO₂を増やさないろうそくを作ってみましょう。作ったろうそくはお家で「キャンドルナイト」をしてみましょう!

日時: 8月23日(月) 13時30分~16時

場所: エコプラザ西東京 多目的スペース

定員: 50名

申し込み先&方法:

FAX 042-462-8097 042-423-4610

問い合わせ: 090-9963-6328 (茂木)

参加費:(材料費)こども300円 おとな500円

主催:西東京 菜の花エコプロジェクト(エコプラザ登録団体)

協力:西東京市環境保全課

協賛:西東京生活クラブ生協運動グループ地域協議会

虫を見よう 描いてみよう

夏休み親子自然観察会を開催します。昆虫研究者と一っしょに、東大農場に生息する虫を観察して絵に描いてみましょう。

日時: 8月25日(水) 9時30分~12時

場所: 東大農場(正門前集合)

対象: 幼稚園児以上のお子さんと保護者。定員なし

申し込み方法: 事前申込み不要。当日上記に集合

問い合わせ: 042-464-1157(中村)

参加費: 無料

指導: 昆虫研究者 中西 章さん

準備品: 水筒、画用紙、色鉛筆またはクレヨン、長袖・長ズボン、帽子など

注意: 雨天時は「西東京いこいの森公園パークセンター」

主催: 西東京 自然を見つめる会(エコプラザ登録団体)



屋敷林の生き物探検&ワークショップ

屋敷林の生き物の生態系を知り、多様な生き物が関係しあって生きてこそ、豊かな環境を保つということを理解します。

日本鳴く虫保存会の会長寺澤康行さんといっしょに屋敷林や原っぱを探検してみましょ！



日時：8月28日(土) 9時30分~12時30分
場所：高橋家屋敷林(下保谷4-7-4/保谷駅北口4分)
(雨天エコプラザ西東京)

定員：小学生30名(先着順・行事保険加入・低学年は親子で参加)

申込：西東京市環境保全課(042-438-4042)

参加費：無料

準備品：虫捕りあみ、虫かご、長袖・長ズボン・帽子など

主催：屋敷林の会(エコプラザ登録団体)

協力：西東京市環境保全課

協力団体：日本鳴く虫保存会・西東京 自然を見つめる会
自然体験クラブ



こども料理検定

子どもたちの料理の力を検定します。食材や、調理器具、行事食などすべて実技の検定です。チャレンジしてみてくださいね。

日時：8月29日(日) 午前の部 10時~12時
午後の部 13時~15時

場所：エコプラザ西東京

対象：午前の部 3才~未就学児 午後の部 小学生

定員：各回 50人

申し込み方法：往復はがきにて応募(8月20日まで)

問い合わせ：ワーカーズ・コレクティブちろりん村
chirorinmura@mbn.nifty.com

参加費：一人500円

主催：ワーカーズ・コレクティブちろりん村(エコプラザ登録団体)

詳細につきましてはちろりん村にメールにてお問合せください。

この事業は西東京市のNPO等企画提案による協働事業です。

西東京市エコ・クッキングナビゲーター デビュー!

西東京市と東京ガス株が協働で養成した西東京市エコ・クッキングナビゲーターが、環境フェスティバルでデビューしました。

デビューのメニューは小学校でも実施する「エコのみ焼き」。

エコ・クッキングナビゲーターは、この秋から小学校等で出前授業を行うほか、一般向けの講座への派遣も予定しています。

環境にやさしい食生活「エコ・クッキング」を体験してみたいという方は、ぜひグループで講師派遣をお申込みください。

メニューのご相談やお問い合わせは、

環境保全課(042-438-4042)まで。



6月19日、20日の環境フェスティバルの様子

エコキャップの回収報告



今年度に入り、エコプラザ西東京にペットボトルのエコキャップを持参頂いたみなさまへご報告いたします。

4月から7月にエコプラザ西東京に集められたエコキャップは、

4月 50Kg 25人分のポリオワクチンに、
5月 127Kg 63.5人分のポリオワクチンに、
6月 34Kg 17人分のポリオワクチンに、
7月 61.4Kg 30.7人分のポリオワクチンになります。

(チャリティーリサイクル市民の会より)

私のいちおし 書籍

「虫眼とア二眼」

新潮文庫(2008年2月1日出版)

著者 養老猛司、宮崎駿



子供たちが夢中で遊べる所、地域の子供たちが誰でも入れる場所、そんな空間をもとめて思いをめぐらせると、小さい頃から非現実(バーチャル)なものばかりに取り囲まれてきた今の子供たちが気になります。対談の中で宮崎駿は、「『うちの子供はトトロが大好きで、100回位見えています』なんて手紙が親から来ると、見るのは誕生日に1回にして、山にドングリ拾いに出かければ良いのに。100回も見たらドングリを拾いに行こうとは思わない」と語っています。

生活のあり方を変えないとこの文明はほろびるぞと、二人のオピニオンリーダーが熱く語り合います。

環境問題でも、私たちは普段、つい遠くを見すぎた議論をしてしまう。「遠い人類より、隣の人を愛しなさい(マザーテレサ)」などといった言葉も引用しながら、やんわりクギをさす。

アニメ作品「もののけ姫」や「千と千尋の神隠し」などを話題の軸に、微小な虫にも感動する「虫眼の人」養老猛司と日本を代表する「アニメ(眼)の人」宮崎駿の対談集。

子供たちにたくさんの眼差しが向けられる夏休みのこの時期、ぜひともお母さんたちにお勧めです。

お奨めポイント！

巻頭の宮崎駿のイラスト「養老さんと話して、ぼくが思ったこと」が本の四分の一ほどを占め、この内容がスグレ物で、このイラストだけでも必見です。子供を取り巻く環境への夢をジブリ美術館の実現に向けて活かそうとされた様子がわかるような気がします。発行後2年ほどで9刷の注目本。2002年に徳間書店スタジオジブリ事業本部より発行された後、2007年に文庫版として改訂されたものです。

エコプラザ西東京協力員(書籍・映像チーム) たかしま つとむ 高濱 劭

リレーエッセー 私のサステナビリティー～食物資源「生ごみ」～



夏になると思い出します。大きなマロニエの木が道路に緑陰を落とす、フライブルグ^註の街の葉陰の涼しさ。庭の隅に木枠を組み、落ち葉などが積まれている。これは、家庭用の簡易コンポストで、微生物やミミズたちがせっせと土に返してくれている。

この市の小学校では、子供たちが昼食のパンくずやりんごの皮などの残飯をミミズに与えて何を食べるかを実験させる。プラスチックの破片などをミミズは食わず、土に還らないことを目で見て触れて学習する。小泉みね子さん著書の「みみずのカー口」などにも紹介され、私も見学して来たが、実に地道な体験学習である。

私は合併前の保谷を含め、西東京市に定住して約50年になるが、「生ごみ」をごみとして排出したことはない。私にとって「生ごみ」は「ごみ」ではなく、楽しくワクワクさせられる貴重な『食物資源』である。

ところで、どうして土壌はできたのか？土壌ができるまでの地球の長い歴史を生ごみコンポストで垣間見ることが出来る。

最近はじめたダンボールや発砲スチロールを容器とした堆肥化実験では、日量500g^ラの調理くずなどの『食物資源』が2～3日位で、ミクロの微生物によって分解され、土に還る。H₂O(水)とCO₂(二酸化炭素)を排出するが、植物が成長過程で吸収したCO₂を戻しているだけである。『食物資源』を一年間コンポスト容器に入れ続けても、容器の土は僅かしか増えない。動植物の死骸がミネラルいっぱいの土壌を作り、食糧生産のための質の良い土を残してきたか、それまでにどれほどの長い年月がかかったかがよくわかる。この構造は持続可能な循環を意味する。

世界中がサステナビリティー(持続可能性)について「今なら間に合う」と知恵を結集し、実践を始めている。私のコンポストによる小さな実験もその中のひとつであり、うれしいことにベランダでのプチ農園という楽しみがついてくる。今夏の坪井のプチ農園はそら豆・きゅうり・なす・トマト・ゴーヤなど夏野菜がすくすく育ち、一年間作ってきた堆肥は使い切った。次の堆肥作りに向けてまたせっせと『食物資源』を追加している。

「チャリティーリサイクル市民の会」代表 坪井照子

注 ドイツのバーデン・ヴュルテンベルグ州都。
1992年に「自然と環境の保全に貢献した連邦都市」
の指定を受け世界的な環境施策都市として有名



フライブルグのゴミ箱

協力員:昨年度二つの庁舎に大型の太陽光発電パネルが設置されました。市長は早くから太陽光発電に強い関心をもたれ、長年研究をされていらしたとおうかがいしています。そこで、太陽光発電を中心に西東京市のエネルギー利用、地球温暖化対策について、市長のお考えをお聞かせください。

市長:石油、天然ガスなど資源小国日本のエネルギー自給率はわずか4%、かつての農業国日本の食料自給率が今や40%、その一方で約39万ヘクタールの耕作放棄地があります。市民アンケートによると地球温暖化が関心のある環境課題のトップになっているなど、今はまさに地球規模で環境問題をとらえ、考えていかなければいけない時代といえます。太陽光発電はCO₂削減、エネルギー枯渇の両課題の解決の鍵として注目されています。

協力員:設置の費用なども含め、設置までの経緯を簡単にご説明いただけますでしょうか。

市長:西東京市では、平成21年3月に策定した後期基本計画で地球温暖化対策の推進を目標に掲げています。市が率先し地球温暖化対策に取り組むため、公共施設への再生可能エネルギーの導入を計画的に進めているところです。そこで、昨年度、国が経済対策として実施した臨時的交付金制度(100%補助)を活用し、地域活性化経済危機臨時交付金の約8000万円を両庁舎に太陽光発電パネルを設置することになりました。

協力員:姉妹都市の山梨県北杜市は太陽光発電事業が大変盛んで、市長も視察に行かれましたが、その北杜市の取組みなどについてご意見をいただけますか。

市長:北杜市ではNEDO(新エネルギー・産業技術総合開発機構)の委託事業として約2000kWhの大規模太陽光発電システムを設置しています。これは国家戦略としてグリーンニューディール政策の具体的「トップダウン型の大規模システムモデル」です。20年間にわたり、「お日様の恵みを作物にも、電気にも」と太陽光発電を農業に取り入れ、荒農地の拡大を防ぎ、年間収入約30万円(28円/kWhで東京電力㈱と売電契約)の効果を上げている浅川初男氏にもお会いしてきました。食糧自給率向上のモデルとして大変興味深い取り組みで、西東京市でもこのような協働によるエコイノベーションを進めていきたいと考えておりますので、参考になりました。

市の公共施設の太陽光発電設置状況

施設名	発電量 (kW・h)	施設名	発電量 (kW・h)
青嵐中学校	10	エコプラザ西東京	1.4
明保中学校	10	田無駅北口M1	1.7
けやき小学校	1.5	田無庁舎	20
いこいの森公園	9.7	保谷南分庁舎	10

22年度新設予定

下保谷児童館	1	障害者福祉センター	10
--------	---	-----------	----

協力員:今後の市の環境施策に期待しています。お忙しい中、取材にご協力いただきありがとうございました。

(取材担当 エコプラザ協力員 宮崎・末光)

今回の市長インタビューはエコエコ16号の「西東京市庁舎太陽光発電パネル」の続編として行いました。

エコプラザ西東京に「エコタロー」がやって来た!

7月の末にエコプラザ西東京にエコタローのイスが2脚設置されました。このイスは都市ごみの焼却灰をリサイクルして作られたエコセメントで作製したコンクリートベンチです。

平成20年、エコプラザ西東京開館の際に東京たま広域資源循環組合に依頼をし、人気の順番待ちで、この度やっと届けられました。

エコタローは東京たま広域資源循環組合が取り組むエコセメント事業のシンボルマークです。

みなさん、エコタローベンチをよろしくお願ひします。



朝の散歩の途中にひと休み

「エコエコ第17号」は協力員広報チームメンバーの活動で制作しています。

金成ハツエ・宮崎啓子・山口ヒロ子・谷島厚子(アイウエオ順)

一緒に広報として活動をされてみたい方、印刷や配布のお手伝いだけでもOKです。ご興味があれば一緒に協力員としてご参加ください。



交通

西武池袋線保谷駅から
バス吉祥寺駅・三鷹駅・田無駅行
保谷庁舎下車
西武池袋線保谷駅から
はなバス第2ルート 保谷庁舎下車
西武池袋線ひばりヶ丘駅から
はなバス第5ルート 保谷庁舎下車

西武新宿線田無駅から
バス保谷駅・天神山行 荒井竹下車
西武新宿線西武柳沢駅(柳沢駅通り
バス停)からバス保谷駅・天神山行
荒井竹下車
西武新宿線東伏見駅から
はなバス第2ルート 保谷庁舎下車

休館日のお知らせ

8月16日(月)
9月21日(火)